



令和6年上半期交通事故

《令和6年6月末現在の人身事故》 《高年齢者の事故》※高年齢者…65歳以上をいう

	件数	死者	傷者
本年	1,258	11	1,525
前年	1,306	19	1,579
増減数	-48	-8	-54

	件数	死者	傷者
本年	449	7	242
前年	409	7	199
増減数	+40	±0	+43

6月末現在の交通事故は、前年と比べて発生件数、死者数、傷者数すべて減少していますが、高年齢者の事故については、件数、傷者数が増加しています。

交通事故死者11人中、高年齢者は7人(63.6%を占める)!

※小数点以下は四捨五入

どんな事故が発生しているの?

自動車運転中 1人

自転車乗用中 1人

～高年齢者交通事故死者状態別～

歩行中 5人

高齢死者
7人

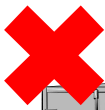
斜め横断・無理な横断
は危険です!

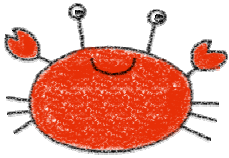
道路を横断するときは、

信号無視をせず、

「止まる・見る・待つ」の安全確認をして、「私渡ります」といった意思表示を心がけましょう。

危険





夏の交通事故防止



夏は行楽、レジャーや夏休みに伴い、交通量が多くなります。
 また、慣れない道や高速道路を運転することが多くなる時期でもあります。特にお盆の時期は普段とは交通状況が変わることで、交通事故が起きやすくなります。
 事故に遭わない・起こさないために交通ルールを守り、事故を防ぎましょう。

長距離運転をするとき、

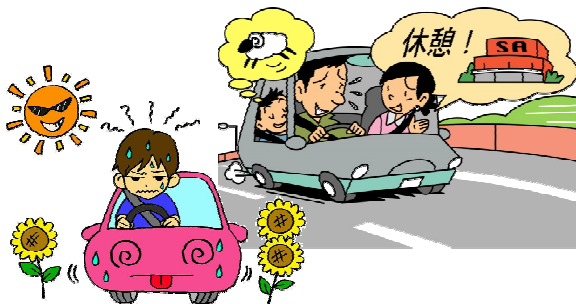
3つの「め」を意識するのが 安全のヒケツ



①スピードは控えめ

長距離運転では、早く目的地に着きたいなどの理由からスピードを出しがちです。

スピードが上がるにしたがい、**危険の見落としなど事故の危険が高まります**。スピードは控えめに運転しましょう。



暑い日が続きます
熱中症にもお気をつけて

②休憩はこまめ

長時間にわたる連続運転は、疲労を蓄積させ、漫然運転や居眠り運転の引き金になります。

こまめに休憩をとり、疲労の蓄積を防ぎましょう。休憩の目安は、**最初は2時間運転したら休憩をとり、その後は1時間ごとに休憩をとりましょ**う。

③燃料・水分はあらかじめ

渋滞や事故により、予定していた場所で給油や休憩ができないおそれがあります。

燃料は出発前に給油し、飲み物などの水分はあらかじめ用意しておきましょう。



施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp